

第73号

Super
Highway

JR東労組バス関東本部

発行日
2015. 3. 31

スーパーハイウェイ

発行責任者：遠山真一郎
編集責任者：中世古 俊明
東京都渋谷区代々木2-2-6
JR新宿ビル13F
Tel.03-3375-5076 (NTT)

バスフォーラムに300名結集！

～バス業界の未来を切り開く提言を、職場活動の強化、
全ての仲間との連帯、たしろ議員の政策で実現させよう～

JR東労組は3月30日参議院議員会館において初めての試みとなる「バスフォーラム」を開催し、組合員と共に関係各機関からの多くのご来賓にもお越しいただき、バス業界の課題について討論を行いました。



吉川委員長のあいさつでは今フォーラムで勝ち取るべき課題と共に、15春闘において格差バアを許さず全12地本が一つになり、たたかいを継続している現状報告がありました。続いてバス本部から規制緩和以降の「バス業界の現状」の問題提起から、労働科学研究所の酒井一博所長から1時間にわたり講演を頂きました。講演では「バス労働者の安全と健康」をテーマとして、『バス運転と安全指標』『バス運転のヒューマンファクター』『運転と疲労・過労』『健康と安全は両輪』と4つの視点で運転労働の特性を認識し、昨今増加する事故への対策は休息を重視した健康管理が重要な要素であることを学びました。

各分会からは、日常の業務において現れる法令の問題点・高齢化や要員不足の実態・縮小する営業職場の未来像・交通政策基本計画の問題点など幅広い分野で具体的な提言があり、明るく魅力のあるバス業界の未来をつくりだそうと参加者と活発な討論が繰り広げられました。実行委員長遠山議長のまとめでは、①「自動車運転者の改善基準告示の問題」②「社会的地位向上をつうじた人材の確保」③「働くものの安全と健康問題」④「地方創生・街づくりを考える」について職場活動を基礎にたしろ議員への政策要求に高め、15春闘をバス労働者の共闘で勝ち取ろうと参加者全員で確認しました。



テーマ～バス労働者の安全と健康へ
ご講演いただいた
労働科学研究所：酒井一博 所長
近年では国交省「高速ツアーバス等の
過労運転防止のための検討会」座長
安全運行サポーター協議会会長として
「技術と人と仕組みで運輸の安全」
を目指している。